

栃木放送平成 23 年度第 2 回 5 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 23 年 5 月 17 日 (火) 午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 6 名

欠席委員 3 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	副委員長	鈴 木 正 好
	委 員	太 田 照 男
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	岩 村 由 紀 乃
局側出席者氏名	代表取締役社長	栗 山 正 道
	常務取締役	山 口 純 一
	報道制作本部長	竹 澤 一 夫
	報道制作部長	川 島 育 郎

4 議 題

(1) 「鈴木智の栃木の元気」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「鈴木智の栃木の元気」について

試聴番組：平成 23 年 5 月 16 日 (月)

18：30～19：00 放送分から抜粋

議題説明：川島育郎 報道制作部長

はじめに番組の概要説明を行った。番組で取りあげる企業は県内で活躍する企業、特に一般にはあまり知られていなくても、スゴイものを開発しているような、注目の企業にスポットを当てていること。そして、番組進行役を兼ねたコーディネーターのプロフィールなどを紹介し、番組の試聴を行った後、審議に入った。

各委員からは、

- 番組出演者の問合せ先も欲しいが、連絡先は放送するのか。
- あんまりそれをやるとPRになってしまう。
- 位置づけはCMではないわけだ。
- 企業情報と、宣伝の線引きはどの辺でやっているのか。
- 番組に出たい人もいるだろうが、誰でもよいというわけではない。選ぶ基準が必要だ。
- 線引きは、リスナーにとって有益な情報ならいいとおもう。
- おもしろい番組だ。いいコーディネーターを発掘した。
- 放送時間が夕方だが、再放送もやったらいい。それだけの価値はある。ただ、出だしの話し方が暗い。
- 人選はコーディネーターがやっているのか。
- 次週の予告を入れると良い。
- 県内の目立たない企業にスポットを当てるのは、ラジオとしての使命でもある。多方面の元気のよい話を聞かせてもらいたい。
- 季節性のある話も聴きたい。
- 聴いている人が元気をもらう、知恵をもらうという点は良いが、「対象が誰なのか」と思ってしまう。
- 番組への意見や問い合わせだが、それらの分析・整理を行っているのか。また、番組として、リスナーの意見を聞く手段はどうか。この審議会にも、一般からの意見や苦情をだして欲しい。
- 今回の震災でたくさんの方がラジオに注目してくれた。これを離れないようにする努力が必要だ。
などの意見が交わされた。
- 当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨説明した。

(2) その他

23年度第3回6月期の審議会開催日を決めて閉会した。

以上